

愛教大図書館「愛ぶらり」

全面改修された愛知教育大（刈谷市）付属図書館の竣工記念式典が二十四日、同大であり、大学関係者がテープカットをして完成を祝った。（土屋晴康）

学校の教室を模した「模擬授業ルーム」などが整備された図書館＝刈谷市の愛知教育大で



全面改修、学ぶ空間充実

老朽化が進んでいたことから二年かけて改修。学生自ら能動的に調べて学び、発表する「アクティブラーニング」のための部屋や空間を整備した。

入り口のある二階には、愛教大の歴史や特色を紹介するインフォメーションギャラリーを設置。教室を模した「模擬授業ルーム」や

「グループ学修エリア」も設けた。絵本、紙芝居を集めた子ども向け図書コーナーもあり、学外の家族連れも利用できる。三階では、パソコンの使用などを禁止し、集中して自習できる「サイレントルーム」や自習用の個室を用意するなど、学生の多様なニーズに対応。大学の敷地内から出土した土器や須恵器、戦前の卒業証書などを展示した大学史資料展示室もある。

図書館の愛称は学内公募した結果、数学専修四年の本郷徹真さんが考えた「愛ぶらり」に決まった。本郷さんは「愛教大とライブラリー（図書館）をかけた。図書館の硬いイメージを変え、ぶらりと親しまれる施設になってほしい」と思いを語った。